

授業科目名	スポーツ科学英語特講		授業形態	講義・演習	授業科目区分	共通コア科目 (共通コア科目)
担当教員名	エルメス デイビット				補助担当者名	
単位数	1 単位	履修年次	-		受け入れ人数	-
授業の概要 及び達成目標	<p>21世紀の「スポーツ科学」は、人文・社会科学と自然科学分野の諸科学が体系的に融合しながら、学際的な複合新領域として発展する方向にあり、その人材養成のニーズは多様化の一途を辿っている。21世紀を担う体育・スポーツのリーダーには、「スポーツ活動を通じて、全世界の人々が健康で安定な生活を享受できる社会の構築に貢献する。」ことに加えて、21世紀のボーダーレスの時代とともに時事刻々とリアルタイムで変化する世界情勢に即応するため、国際的な視野と感覚を有し、「スポーツ活動と健康・文化に関する様々な世界的課題を即座に解決する能力」が求められている。現在、国際社会の様々な舞台で用いられている共通言語は「英語」であり、英語を通じて相互のコミュニケーションが図られている。したがって、21世紀を担うスポーツ科学のリーダーには、英語をコミュニケーション・ツールの1つとして利用して全世界の情報を収集するとともに、自らの研究成果を発信する能力が必要不可欠である。スポーツ科学英語は、21世紀の体育・スポーツのリーダーとなる人材育成を目的としたグローバル教育の一貫として実施する。</p> <p>スポーツ科学英語特講（必修科目）については、様々なスポーツ科学領域に関する科学英語論文の特徴を理解し、論文内容の読解及び必要な表現方法を学習し、関連する学術雑誌（修士論文を含む。）のabstractを英語で執筆することが可能となる英語能力の取得を到達目標とする。</p>					
成績評価の方法	学期末試験の成績（40%） 出席状況（20%） 授業への取り組み状況（%） レポート等の提出状況（40%） を総合的に評価する。					
成績評価の基準						
テキスト、教材 参 考 書	プリントを配布します					
履修条件・ 関連科目			備考(教員メッ セージ含む)	このクラスの為のノート、フォルダー、英和・和英辞典を用意してください。		
オフィス・アワー						
授業計画						
回	担当教員名	授業内容			授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)	
1	エルメス デイビット	Introduction（講義内容・進行方法の概略）				
2	"	科学英語の基礎知識（科学論文の構成、固有の単語、等）				
3	"	科学英語の基礎知識（科学論文の特異的表現方法、等）			固有の単語（例文作成）	
4	"	論文執筆の修辞法（主語、時制、冠詞、等）			動詞リスト	
5	"	論文執筆の修辞法（単数・複数、接続詞、関係代名詞、等）				
6	"	Abstract執筆の実際 (abstractの意味、abstractに記述する内容、表現方法、等)			アウトライン (今までのMe)	
7	"	Abstract執筆の実際（執筆したabstractの添削）			アウトライン (スポーツ科学)	
8	"	Abstract執筆の実際（執筆したabstractの添削）、まとめ				